

各地区協会会長 様
(U12 部会長)

一般財団法人 北海道バスケットボール協会
専務理事 森 野 和 泰
U12 統括部長 小 林 勉
(公印省略)

U12/ミニバス指導の有り方について（厳命）

去る、2月26日に札幌市内のミニバス指導者が「強制わいせつ」という極めて恥ずべき事案で逮捕されました。

裁判で確定するまで「推定無罪」の原則がありますが、報道の映像でも当該指導者は「フランクな付き合いの中での行為の一環であり、自分も子どもたちもわいせつとは思っていない」と述べており、行為そのものを否定していません。

本件は、わいせつ行為を目的とした事件の性質以前の問題意識の欠如であり、予てより、公益財団法人日本バスケットボール協会（以下「JBA」と言います。）及び日本ミニバスケットボール連盟、更には、当協会からも再三にわたり、「**暴力・暴言・ハラスメントの根絶**」などの注意喚起を行ってきたことを全く無視するものであるというだけではなく、今後ミニバス全体に向けられる社会的な見方の変化、影響を考えると、その損失は計り知れないものがあります。

今回の事案は問題外のことですが、保護者が「勝利」を強く願い、指導者がそれに「応える」過程で指導が過激化し、「暴力・暴言・ハラスメント」を引き起こすという現在の状況を打破するため、JBAは『インテグリティ委員会』を立ち上げました。

『インテグリティ』とは『誠実、真摯、高潔』を意味し、従来規律・裁定を扱う部門をグレードアップし、こうした問題を撲滅することを目的とした組織です。

第一弾としてミニバスは、指導者とプレイヤー或いは保護者が従属関係になりがちであることから、次年度から登録、移籍の制度変更となったものです。

こうした事案の根底に「勝利欲」があるならば、「大会の存在が問題なのか」ということにも繋がります。

今後、これらを含めて再検討して参りますが、喫緊の対応として、以下の点を厳守するよう通知します。

記

1. 異性を指導する際は、身体に触れないように心がける。
2. 指導者はプレイヤー、保護者と1対1（少人数）になる状況を作らない。
3. 暴力・暴言・ハラスメントを撲滅する。

以上

インテグリティ委員会の設立

インテグリティ委員会は、【バスケットで日本を元気に】の理念実現に向け、【インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）】に基づき人間力・指導力・組織力を高め、バスケットボールの価値を高めるための指針決定および啓発活動を目的とする

